



吉 水

7月1日現在〈前月比〉	
65歳以上男	1,513人〈-1〉
65歳以上女	1,740人〈-1〉
高齢化率	19.24%〈-0.01〉

発行 吉身学区社会福祉協議会

シリーズ 各種団体紹介

～吉身学区民生委員児童委員協議会～ 会長 淵上 清二

現在、守山市では152名の民生委員・児童委員が活動しています。吉身学区民生委員児童委員協議会は、学区内28名の民児委員によって構成し、自主運営しています。民生委員とは、厚生労働大臣から委嘱された無給の非常勤の地方公務員であり、児童福祉法に定める児童委員を兼ねています。

協議会の主な活動は、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等を定期的に訪問し、住民の抱える悩みや心配ごとなどの相談にのり、解決に向けての福祉サービスの情報提供を行うほか、必要に応じて行政機関などへ取り次いでいます。また、赤ちゃん訪問（3カ月・1歳児）、新入生の祝い訪問（小学1年生）、あいさつ運動への参加、児童が育てた鉢植えの花を児童と一緒にひとり暮らし高齢者へお届けするほか、地域行事や学校行事等にも積極的に参加し、住民や学校との交流を深めています。そのほか、自主的に「命のバトン」の備置状況について点検運動を行うほか、行政などの依頼に基づき世帯状況の調査や年末には赤い羽根の街頭募金にも協力しています。さらに、日々の活動に必要な知識を得るための各種の研修にも参加しています。

これら活動を行うにあたっては、法律上の守秘義務が課せられており、人種、信条、性別、社会的身分や門地によって、差別的または優先的な取扱いをしてはいけないことが定められています。

大正6年、岡山県で発足した「済世顧問制度」に始まった民生委員制度は、来年度に創設100周年を迎えることから、全国の民児協では、さまざまな取組が進められています。



【新入生の祝い訪問の様子】

ひとり暮らし高齢者お楽しみ会

福祉部会 大崎滋子

7月15日（金）、ひとり暮らし高齢者お楽しみ会は、多賀大社とびんてまりの館に行きました。

多賀大社は、「お多賀さん」の愛称で親しまれ参拝される方も多い神社です。今回は参拝だけでなく、奥書院や国名勝指定の庭園を拝観し、披露宴会場にも使われる参集殿にて、おいしい昼食をいただきました。

また、びんてまりの館では、瓶の中に毬が入っているととてもきれいで不思議な工芸品の展示を拝見したり、マーガレットステーションでお買い物をしたり、楽しい一日になった事だと思います。



1号車の皆さん 【多賀大社にて】 2号車の皆さん

ボランティア登録者交流会

ボランティア部会 林 美智子

7月22日（金）、ボランティア登録者、ボランティア部会員等34名で、第1回ボランティア登録者交流会を開催致しました。

はじめに、健康福祉政策課の松岡さんに「ユニバーサルデザインのまちづくり」についてお話しいただき、街中のユニバーサルデザインにはどんな工夫がされているか、どのように便利かなどの説明をして頂きました。

次に、太田千恵子さんから車椅子での日常生活や生まれてから現在までの様子をパワーポイントを使ってお話して頂き、太田さんが水泳や車椅子マラソンなど何事にも挑戦して取り組まれている姿に感動しました。

最後に、参加者同士で実際に車椅子を使って、車椅子の押し方や、扱い方を体験し、とても有意義な交流会となりました。

